



## 自分が輝ける場所を静岡で見つけました。

「地方には誰でも活躍できる場所が必ずある」。そう語るのは林業に可能性を見つけて32歳で(株)ソマウッドを起業した久米歩さんだ。

久米さんが富山から静岡へやって来たのは静岡県立大学国際関係学部へ進学するため。「太平洋側に漠然とした憧れはありましたが、明確な目的はありませんでした」と当時を振り返る。しかし、恩師に「国際関係を学ぶ前にしっかり国内へ眼を向けなさい」と指導され、恩師の山荘で修業を開始。書生を務めながらアルバイトで地元の茶業や林業に従事し、小中学生の家庭教師も引き受ける。6年後、中山間地の両河内(静岡市清水区)へ移住。学習塾の開業や結婚を経て地域に根ざした暮らしを送るようになるが、一方で林業の衰退や少子化に直面。地域支援への思いを募らせて(株)ソマウッドを起業。「地方の人は面倒見がとても良く、行事や酒席にも誘ってくれます。その呼びかけに応じていれば、地域に溶け込み、自分が必要とされる機会、活躍できる場所は必ず見つかります。特に静岡は都会と田舎の“いいとこどり”。移住を考えるなら迷わずに飛び込んでも大丈夫です」と久米さんは笑う。

林業の再生事業を手かけ、雇用促進や子育て支援などにも精神的に取り組む久米さんは「地域と人を結ぶ架け橋になりたい」と語る。その眼差しは「森を守りながら人を育てたい」という明確な目的で輝いている。

静岡市在住(富山から転入)

く め あゆむ  
**久米 歩さん**

富山県出身。静岡県立大学国際関係学部卒業。平成21年(株)ソマウッドを起業して林業の再生事業に取り組む。薪やウッドチップによる熱供給事業にも意欲を示し、地域の雇用促進や子育て支援にも力を注ぐ。3人娘の父。



久米さんは地元中学生に英語と数学を教える「独歩塾」も主宰している。